

台風シーズンを迎えるに際して

～ 停電の防止と停電への備え ～

令和 3 年 7 月 1 2 日

内閣府沖縄総合事務局経済産業部

エネルギー・燃料課

経済産業危機管理対策官

昨年7月の熊本豪雨や千葉県等をおそった一昨年の台風15号など、近年、自然災害による被害が拡大傾向にあり、「過去最強クラスの台風」という表現も度々使われたりします。先月末には線状降水帯が沖縄本島地方に発生し、豪雨による土砂災害や冠水など各地に被害が出ました。

いつ起こるか分からない自然災害時で困らないよう、日ごろから「もしも」の備えをしておく必要があります。

沖縄地域はこれから台風シーズンを迎えますが、台風の影響により電力設備が被害を受け、「停電」が発生しやすくなります。

ブルーシートやトタン等の飛来物や樹木の枝が電線に引っかかったことによる断線や、倒木による電柱倒壊等が発生し、大規模停電に繋がることも想定されます。ここで重要なことは、台風は予測が可能だということです。台風接近が予想される場合は、事前に台風への備えを行うようお願いいたします。

沖縄電力HPの「災害にそなえて」のサイトも参考にしてください。

<https://www.okiden.co.jp/livelihood/disaster/>

非常用発電設備（自家発電機）を所有している皆様へ

非常用発電設備は、いざという時に使えてこそその設備です。台風接近の際は、停電に対応できるよう事前の確認（燃料の有無、起動試験等）をお願いいたします。

【注意喚起】

現在、新型コロナウイルス対策としてワクチン接種が県内でも行われていますが、ワクチンは、冷凍庫による厳格な低温の温度管理が必要で、短時間の停電でも毀損にいたる恐れがあります。

県内でも6月に「停電によるワクチン廃棄」が発生しています。

停電は台風のほか、落雷、竜巻等でも発生することがありますが、ワクチン接種会場においては、気象状況を考慮し、停電対策に十分ご注意くださいようお願いいたします。